

仙台市教員プレゼミナール

共に踏み出すはじめの一步 ~あなたを待っている子供たちがいる~

令和5年度実施状況

1 参加申込数

○ 125名 【令和4年度 110名】

採用（任用）校種等別申込数

・小学校80名 ・中学校15名 ・中学校・高等学校21名 ・高等学校4名 ・養護教諭5名

新規学卒者等（免許取得後初めて教壇に立つ者：名簿登載者）参加申込率

教諭 : 73.6% (小学校 80.0% 中学校・高等学校 59.3%)

※養護教諭名簿登載者に新規学卒者等はなし

【令和4年度 教諭： 47.9% (小学校 54.4% 中学校・高等学校 27.6%)】

2 会場

○ 仙台市教育センター

3 開催日・実施内容及び参加人数

※ 開催時間 14:00~16:30

回	開催日	テーマ	R4	R5
第1回	R5 11/11 (土)	「共に踏み出すはじめの一步」	49名	60名
第2回	11/25 (土)	「児童生徒・保護者と向き合う」	58名	62名
第3回	12/ 9 (土)	「魅力ある学級づくりのために」「養護教諭になること①」	68名	64名
第4回	R6 1/13 (土)	「仙台市の先生になること」	71名	56名
第5回	1/27 (土)	「教えて先輩！」	67名	79名
第6回	2/ 3 (土)	「先端ツールで魅力的な学びを創る」	59名	76名
第7回	2/17 (土)	「わかる・できる授業を目指して」「養護教諭になること②」	60名	78名
第8回	3/ 2 (土)	「あなたを待っている子供たちがいる」	41名	61名

※受講者の必要に応じて参加する回を選択

4 受講者の声

(1)「4月から始まる教員生活に向けての手応え等」(令和6年3月 第8回終了時アンケートより)



○技術教員というものもあるが、ICTツールの利活用に関しては貴重な経験になりました。春からの学級作りや授業作りで、生徒のことを第一にした指導形態を取れるように、今後も学ぶ姿勢を忘れずにいたいと思います。

○4月からの教員生活がとても不安でしたが、プレゼミナールのおかげで不安が少し軽減しました。このプレゼミナールで学んだことをこれからの教員生活で活かせるよう、精進していこうと思います。

- 魅力ある授業に向けて：児童の立場になってみることで、来年からは先生の立場しかならないから、こんな授業ができたら楽しいだろうと思うことができた。
 - ・現場の先生からの話：学級開きで何をしなければいけないのが良く分かった。準備物や学級の雰囲気作りなど
 - ・2年目の先生が来てくれた時の学級の様子を教えてくれた時：一日の中でのスケジュールリングや、仕事とプライベートの時間の作り方を学ぶことができた。
 - ・ロイロノートの使い方
- 安心感を得られたことと同時に不安感も掻き立てられたことが手応えだと思う。たくさんの情報をインプットすることができたため、今ある不安感を活かしながら残り1ヶ月で準備できることはたくさん準備しておきたい。
- 何も分からないところから少しずつ教壇に立つ実感が湧き、様々な準備をすることが出来ました。
- 同じような境遇の仲間と意見交換できたこと。ロイロノートなど実用的なスキル・ツールを知れたこと。
- プレゼミナールで学んだ知識は現場ですぐに使えるものも多かったので、学級づくりや授業開きを考えるのにとっても役に立つと思います。
- 講師を経験している身として「先生として、たしかにそれが大事だな。」と多くのことを改めて確認する事ができ、初心に帰ることができました。また心強くも同じ不安を抱えた同期の先生がたくさんいることを、顔を合わせて関わることで知ることができ、とても安心感を得ることができました。今関わっている子どもたち、そして4月から関わる子どもたちのために頑張ろうと思いました。今回の研修に関わったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。4月からどうぞよろしくお願ひいたします。
- 本年度のプレゼミナールを受講して、4月からの教員生活へ向けてより詳しく現場の実態を知ることができた。教育実習などではどうしても「子供の視点」に立つことが多かったが、プレゼミナールでは教員がどのような生活を、どのような心持ちでしているのかなど、より職業としての教員を見つめることができたように思う。また、同期の方々の様々な声を聞き、言葉を交わすことができ、プレッシャーや不安を解消できた。このプレゼミナールで学んだことを生かし、まずはあと1ヶ月準備に取り組みたい。
- 数回のプレゼミナールを受講し、4月の自分に少し期待が持てるようになった。現場の先生からお話を聞く中で、多忙さや、生徒・同僚の先生方との関係性づくりの難しさなどに不安を覚えることもあったが、それが当たり前のものであり、そのなかで自分がどう動くかという視点を忘れずにしていきたいと強く思った。
- 同期の方たちとつながれたことが、手ごたえになりました。このつながりを大切にしていきたいと思います。
- 先輩方や周りの人たちとの情報共有のおかげで大まかなイメージを持つこともでき、不安が少し減少したように思います。不安に思っている人たちが自分以外にも多くいて、共に切磋琢磨できるとプラスに考えて、これから4月から頑張っていきたいと思います。なれないことも多くありましたが、新しいことをたくさん知れた受講でした。
- 県外から3時間かけて、来る甲斐がありました。
- 参加してみて、まず自分と同じような不安を抱えている同期が大勢いること、そしてその不安を共有し、先輩方からの意見をもらうことで解消できたことが大きな手応えだった。先輩方から何度も聞いた、不安をまわりにすぐ伝えることを忘れず、来年度から気合いをいれて頑張りたい。
- 学生生活が終わり、いよいよ教壇に立つのだということをいつも感じるすることができました。4月の着任までにやっておくこと、最初の一か月の流れ、困ったときにはほかの先生方に聞くことなど知らなかったことを多く知ることができました。
- 現役の先生のお話を伺う機会が多かったので、現場のリアルな事例を聞くことができ、実際にイメージが湧きました。また同期や講師の先生と意見を交換したり、話す機会が多く、各回で仲間と話し合いながら自分の考えを深めることができました。
- 何よりも学級開き、自身の準備等の4月の見通しが立ったことが大きいと思いました。そして、同期とのつながりができたことによって不安が解消されたように思います。漠然とした気持ちで4月を迎えるよりも、このような研修の機会があったことで、教師としての心構えや、子供たちを迎える準備がより一層できたと感じています。ここでの学びを少しでも生かせるように、残りわずかとなりましたが心がけていきたいと思います。
- ICTのシステムや使い方、授業における心構えなど、教員の業務の核となる授業のことについて学ぶことができ、自分にもきっとできる、と受講前より自信を持つことができました。
- まず、4月からともに教員として働く同期の方とつながれたことが大きな手応えになったと思う。ぼんやりとした不安があったが、それは自分だけでなくみんな同じだということを感じられ、またテーマに沿って情報交換することで和やかな雰囲気も楽しかった。プレゼミの中身では、特にロイロノートのときがとても勉強になった。私はこれまでロイロノートを使ったことがなかったので、実際に自分でロイロノートを体験できてよかった。
- 4月からの自分の教員の姿は未だに想像ができないが、新しい出会いと、新しい生活に期待している。教員生活は大変なことが多いと思うが、その中でも楽しみを探して、プレゼミナールで得た仲間を大切にともに頑張りたい。
- 本年度のプレゼミナールを受講して、多くの仲間ができたり多くの情報をえることができたりして、大きな安心感を得ることができた。特に、先輩の話や現場の先生から話を聞いて、教室環境づくりや学級開きでのゲーム、児童・教師・保護者・地域との関わり方を学ぶことができたのが良かった。後輩の皆さんにもぜひ受けてほしい・受けたほうがいいと思えました。様々なお話を聞かせていただきありがとうございました。

- 本年度のプレゼミナールに参加することができ本当に良かったと実感しています。受講前は不安が大きく参加するか悩んでいたことはありましたが、実際に参加してみると同期との情報交換を行い、皆同じように不安や緊張をかかえていることを知り安心を得ることができました。また、実際の学校の流れや教員としての仕事内容を知り、具体的なイメージを持つことができました。
- あまり参加できなかった分、周りの受講生の意識の高さに感化されながら、いろいろな話を聞いて、不安な中少しでも頑張ろうという気持ちを持てたということが、手応えだったと思います。同期の顔を見ているだけでも、気が引き締まりつつ、同じ悩みを共有することで不安を解消していくいい機会だと感じました。
- 現場の校長先生や今現在担任を持っている先生方から直接お話を聞いたことで4月から担任を持つイメージを膨らませることができました。具体的に4月まで何を準備すればいいのかが明確にできたことが良かったです。また、同期との仲間との交流を通じたことで、仲間を増やすことができました。
- プレゼミナールを受講させていただき、現場の先生方のお話を聞いたり同期の皆さんと悩みを共有できたりと、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。プレゼミナールを受けていなかったら、4月からからの新生活に不安を抱えてばかりだったと思います。このプレゼミナールで学んだことを大切に、4月から頑張りたいと思います。
- 10月に採用が決まってから、こんな自分が教員になることへの不安や、周りの人との差などを感じていました。このプレゼミがなければ、ずっと不安だったと思います。プレゼミを通して一早く仲間と交流出来たり、現職の方のお話を伺ったことは、これから教壇に立つ上でとても良い経験でした。正直まだまだ不安もありますし、4月からも何度もくじけそうになるとは思いますが、プレゼミでの学びや仲間たちのことを思い出し、頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
- 4月からは、はじめてのことだらけですが、保護者対応やICTの使い方など、多くの事を学ぶことが出来たため、現場に行った際には、学んだことを活かしつつ、困ったときにはすぐに先輩の先生方に相談して、解決していきたいです。
- 先輩方の経験談や具体的な事例を提供していただき、4月からの教員生活のイメージが湧きました。また、同期との交流を通して、教員生活が始まることへの不安が、回を重ねるごとに和らいできました。プレゼミナールの受講を通して、教員生活に対する気持ちの準備をすることができ、本当に感謝しております。
- 特に授業づくり、保護者の方との関係づくりに不安がありましたが、授業づくりについては、大学で学んできたことを今一度振り返ることで授業の基盤をしっかりさせようという見通しが持てました。また、保護者の方との関係についても、子どもを思う気持ちは一緒だということを確認でき少し不安が和らぎました。ありがとうございました。
- 受講前はあいまいで不安だったところがクリアになって、不安感が取り除かれただけでなく、自分の自信にも繋がった。特に第5回の「教えて先輩」の講座で、は具体的なお話を沢山聞きことができ、それが4月から働くイメージへと繋がっている。プレゼミを受講したことによって、良い準備を進めることができた。後輩たちにもぜひ受講してもらいたいと思う。
- 同期との交流ができ、4月から教員になるにあたっての実践的なことを学べて有意義な時間でした。この経験を基に新たなスタート頑張りたいと思います。
- 4月からの先生の動きや学級経営をする上での重要なことなどプレゼミナールが始まるまでに感じていた不安を減少させることができました。まだまだ不安なことはありますが、それでも見通しをもつことができたのはとても大きく、残りの一か月を実りあるものにしていきたい。また、このプレゼミナールで顔見知りになることができた先生方が多いので4月以降の研修等でも情報交換を行いながら、頑張っていきたいと思いました。
- 見通しを立てることと、同じ教員1年目の仲間と会えたことが手ごたえだと感じます。現役の教師の方々、また、これから教師になる方々の皆さんの話を聞いて、3/31までの間に何をすればいいか、そしてその後始業式まで、授業開きまで、GWまでどのような予定になっていて、どのような事をする事で良い教員になれるかよくわかりました。あと1ヶ月しかないのではなく、まだあと1ヶ月教員になるまでの準備期間があるとポジティブに捉えて4/1をむかえたいと考えます。また、同じような不安を抱えた仲間と共に話して、同じ悩みを共有することで自分の不安が少しでも解消したり、違う考え方をできたりという事もあり、安心感を得られました。1月からの2カ月のみの参加となってしまいましたが、有意義な時間であったと感じます。教員になった時に必ず支えとなる研修でした。ありがとうございました。
- 4月からの見通しをもつことができて良かったです。不安なことや怖いことがこれからも出てくると思いますが、プレゼミで出会った同期とのつながりを大切にして、4月からの教員生活をはじめたいと思います。
- 色々あり、4月からは仙台市教員ではなく別の場所で教員として働くことになったが、このプレゼミにおいて、自分と同じ教員生活のスタートラインに立ち同様の不安を抱えている方がこれほどいることを知れたのは、自分にとって非常に良い経験であった。また、自分が通う大学は、教員養成専門の大学であるため、かなり濃い学びをできたと思っているが、それでも、講義の範囲にとどまっておらず、このプレゼミでは、自分が大学で学んだ以上の実践に近い学びを得ることができ、参加した良かったと思っている。将来的には地元・仙台市の教員になりたいと考えているため、この経験は自分の今後には必ず生きてくると思っている。
- 大きく2点あります。1点目は「とりあえず聞いていいんだ」という気付きです。これは各回で必ずと言っていいほど内容の中に入っていた文言で忙しくて中々聞きたいことも聞けない教員のイメージが私の中で大きく変化しました。2点目はアイスブレイクの持ちネタがすごく増えたことです。様々な講師の先生方から実際に使って反応の良かったものを教えて頂き、大学の仲間とやってみて楽しいものが多かったので、4月から意気揚々と使っていきたいと思います。

- 全3回の参加でしたが、どれも非常に有意義な時間となりました。同期との交流の時間では、それぞれが抱えている不安や感情を共有することができ、悩みや不安があるのは自分だけではないのだと安心できたとともに、同期の顔を一目見られたというだけでも良い経験となったと感じています。また、先輩方のお話を聞く回では、教員生活を送るにあたっての心構えや、配属される前の心境などを聞くことができたことが良い経験となりました。やはり実際に生の声を聴くという場は何よりも貴重なものだとして強く感じました。今回のプレゼミで学んだことを忘れず、残り1か月・4月からの生活に生かしていきたいと思います。貴重な経験をありがとうございました。
- 保護者や子どもたちと関わる際のマインドや、周りの先生たちとの関わり方、さらには学級開きの仕方まで、具体的なことをイメージすることができるようになったことが役にたった。
- 第7、8回しか参加していませんでしたが、先輩や教育センターの先生方、同期と関わることができ、来年からの教員生活を楽しみになりました。
- プレゼミに参加する前までは、保護者との関わりや学級づくり、4月の最初の1週間のズゴ仕方などに対する具体的なイメージが湧かず、不安な気持ちがありました。しかし、これまでのプレゼミを受講し、同期の仲間と不安を共有したり、現場経験が豊富な先生方の貴重な話を聞いたりする中で、自分が何をすべきなのか明確になってくるのがわかりました。また、教職のやりがいや喜びについて話を聞く中で、4月への期待を膨らませることができたのも、プレゼミに参加したからこそだと思いました。この8回を通して学んだことを、4月に向けた残りの期間や、教師になってからも生かして、自信を持って教員生活をスタートさせたいと思います。
- 不安が拭い去られ、自信がつかえました。土曜日開催となり、先生方には感謝申し上げます。
- まず、周りの人との関わりや話し合いを通して、自分がこれから働くまでの間でしなければならないことを整理することができ、現在進めている。また、見通しを持つことができたり、これから働くうえでの仕組みなども知ることができたりとプレゼミに参加しなければ得られなかった情報もあった。これから1ヶ月準備できるところを見つけて積極的に取り組もうと思う。
- 教員になる自覚を持ち、働くことについて具体的に考えるようになりました。不安な気持ちと楽しみな気持ちでこんなにもワクワクしているのは、プレゼミを受講したからだと思います。仲間とともに4月から頑張ります。このような会を開催していただき、ありがとうございました！
- 私は全8回プレゼミナルを受講させていただきました。終わってみて、プレゼミを受けて本当に良かったなと心から思っています。今でも4月からの生活について不安はあります。学校も決まって、1ヶ月も切って、いよいよだなあと感じています。そんな中プレゼミで、授業についてはもちろんですが、子どもたちや保護者の方々との関わりを大切にしていくこと、先輩の先生方に相談したりしていいんだということ、心と体の健康が大事であること。4月から教員として、不安なところも当然至らないこともたくさんあると思います。失敗してしまうこともあると思いますが、このプレゼミで学んだことや同期のみんなとの出会いを大切にしながら頑張っていきたいです。ありがとうございました。
- プレゼミナルを通して、モチベーションを高めることができたのが一番の良さだと感じています。プレゼミナルがあったことで教員になるという実感を持ち、具体的なイメージを膨らませることができたのだと思います。また、同期の方々とのつながりを作ることができたため、助け合っていくことができるという実感もありました。具体的な場面を想定しての意見交流もすることができ、自分の考えを広げることもできたと思います。4月からも悩みがあるときは相談し、前向きな気持ちで働いていきたいです。本当にありがとうございました。
- 私は、このプレゼミナルに来て特に良かったと思った点としては、同期の仲間と出会えたことである。最初は、4月からの教員生活にたくさんの不安があったが、多くの同期の仲間たちと出会い、話をするなかで、私と同じように不安を抱えており、共に同じ方向を向いていることがわかった。第8回と長いようで短い期間のなかで同期の仲間と共に多くのことを学べたことは、私にとっての財産であり、今後も私を支えてくれると思う。このプレゼミナルを通して、学んだことを4月の教員生活に活かせるように頑張っていきたい。
- このプレゼミに参加してなかったら…と思うととても恐ろしいです。そのくらい、分からないことが分からないが分かる。ことでした。自分に足りないものは準備して、よりよくしていくためのスタートが切れました。不安と共に今あるこの不思議な満足感を、これからの教員人生に生かし、恩返ししていきたいと思います。
- 11月の初回プレゼミナルに参加するまでは、正直4月から教員として働く自覚がなく、何から準備すればいいのかかわからないうちにいました。全ての会には参加できませんでしたが、実際に現場の方の講話を聞いたり、同期の仲間と情報交換を行ったことで、自覚と期待が大きくなりました。着任する日まで、自分なりに教員の仕事との向き合い方を考え、4月いいスタートを切れるようにしたいです。
- 大学を卒業してからブランクがありペーパー先生の期間が長くあったので、ゼミナルを受講して教員になるための心構えや準備期間の過ごし方、授業の作り方、評価の仕方など、一から学ぶことができました。受講するたびにモチベーションが上がり、教員になり頑張りたいという気持ちが大きくなりました。受講して本当によかったと感じています。毎回たくさんの学びを提供していただき、ありがとうございました。
- 初めてプレゼミに参加する際は、自分以外の人が何でもできるように思得て、参加も話し合いも緊張していましたが、後半になるにつれ、話せる人も増え、楽しく学ぶことができました。他の受講者の方と悩みを共有したり話し合いをしたりすることで、つながることができたと感じています。また講話してくださる先生方や先輩方の姿を見て、自分もこのように話せ

- るようになりたいと前向きな目標を持つことができたと思います。4月からの見通しを持つことができ、楽しみになり、教員の魅力を感じることができました。このような貴重な研修の機会を設けていただきありがとうございました。
- 計6回のプレゼミナールに参加して、教師になるうえで感じていた不安が、4月から教師になる自信へと変わったことを実感することができました。現場を経験された先生や先輩先生の話聞いて、4月からどんなことをして過ごせばよいか、4月からどんな生活が始まるのかを知ることができました。不安が1つずつ解消されることで、こんな先生になりたい、子供たちに早く会いたいと思うことができ、このプレゼミナールに参加してよかったと思うことができました。また、同期の人たちに会えて、同じ悩みや期待を共有することができ、4月からのプレ研も楽しみになりました。4月からこの同期とともに教師の第一歩踏み出し、多くの子どもたちと出会いたいです。ありがとうございました。
- これまで、教育実習でしか学校現場にかかわることがなく、教員同士の連携や協力を実践する機会がなかった。しかし、プレゼミナールでは、毎回の活動で、グループ絵話し合ったり、意見を出し合ったり、スキルを身につけたりと、協力して何かをするという力が身につく、実践して経験することで、不安だったことも安心に変わってきたと感じる。
- 大学の講義や教員採用試験の勉強で得た知識を再確認するだけでなく、着任までに何をすべきか、着任してからは何に重きを置くべきかなど、具体的な不安の解消やモチベーションの向上に繋がりました。
- ペーパーティーチャーの期間がとても長く、現役のことを思い出す目的で参加させていただきました。様々な講義を受け、現役だったのはか昔のことを思い出させていただいたのと同時に、4月からの見通しも実感できるようになり、微力ながらも講師としてやっていけそうです。ありがとうございました。
- まずは、同期と関わり、悩みや感じていることを共有できたという安心感を感じた。また、教育委員会や教育センターに対して、研修を行う場であることから、少し怖い印象があったが、実際にお話を聞き、それも安心感に変わった。4月からの安心材料を得ることができたことに、手応えを感じた。
- プレゼミを受ける前より不安は減り、楽しみだなという気持ちや、実践してみたいなという意欲が生まれました。先生方から具体的・実践的な話を聞いたことがとても参考になりました。ベテランの先生だけでなく、2年目の先生やICTに長けている先生など様々な立場からの話はとても良かったです。また、学校という組織のこと、校務分掌などの業務内容など、あまりイメージ出来ていないところがあったのですが、プレゼミの講義で学ぶことが出来たので4月から円滑に働き始めることができそうです。さらに、プレゼミで出会った同期の皆さんと沢山話をする機会があり、情報共有をしたり雑談をしたり仲を深めることが出来ました。プレゼミだけの縁ではなく、これから一緒に働く仲間として繋がりを続けたいと思いました。体調不良で1回休んでしまいましたが、7回のプレゼミに参加して本当に良かったです。ありがとうございました。
- 北海道からの参加はほとんどいなく、教員採用試験のときから心配でしたが、これからがんばる仲間ができました。とても嬉しいです。また、大学で学ぶことができなかった学級開き等のイメージもつかめました。
- これからとても役に立つ内容を学ぶことが出来たと思います。仕事場で役に立つことに加え、子供たちが使用する学びのツール、理解の仕方など養護教諭ではなかなか学び得ないことを学ぶことが出来ました。
- 何をしたらいいかあまり想像がついていませんでしたが、プレゼミで先生の学級開きの話聞いたことで少し想像がつきました。
- プレゼミナールを受講する前は、楽しみよりも不安の方が大きかったです。ですが、プレゼミナールを通して、大学では学べないような現場のリアルな声や初日の流れ、経験豊富な先生の模擬授業などを聞き、自分が現場に出た時のより具体的なイメージを持つことが出来ました。それとともに、学生から社会人になるんだという自覚も少しずつ持つことができてきました。また席も毎回大きく変わることがないため、初めは初対面だった人たちとも回を追うごとに仲良くなることができ嬉しかったです。同じような気持ちでいる同期の方々と交流できたことで、不安なのは私だけじゃないんだと思えて、4月から一緒に頑張っていきたいなと思えるようになりました。最初はとても緊張していましたが、毎回和やかな温かい雰囲気に参加して良かったです。ありがとうございました。
- プレゼミナールを受講して、新採用の先生方が着任時にどのようなことに悩み、どのように解決してきたのかがよくわかりました。4月当初のスケジュールについても説明していただけたので、イメージもわかりました。赴任校が決定してからは、学校のホームページ等を確認し、少しでも学校の雰囲気をつかんで4月を迎えたいと思います。
- プレゼミナールを受講して、教員になるにあたっての自信や見通しを持つことができたと思います。また、先輩先生から直接話を聞いたり、同期の仲間と交流できたりしたことは、自分の不安の解消にもなり、すごく良かったです。4月からも、このプレゼミナールで学んだことを糧に、たくさん経験を積んで頑張っていきたいと思います。そして、子どもたちが楽しく学校生活を送っていけるように、私自信も子どもたち以上に学校生活を先生として楽しんできていきたいと思います。
- 私は非常勤講師登録をしましたが、4月からの就職は未定です。昨年からはじめて支援員をし、支援員は生徒との触れ合いはできて、指導はしないと言われていたので、英語も教えたいと感じるようになり、そのためにもクロムブックを現場の先生方のように使いこなしたいと思い参加しました。第6回第7回と大変な驚きと緊張の中、確かな手応えを感じました。就職のチャンスがあれば、今回学んだことを活かして生徒の理解がより深められるように努力を続けたいと考えています。ありがとうございました。
- プレゼミナールを受講することで、教育現場への具体的なイメージを掴むことができた。先輩教員の経験談などを伺うことができたこと、周りの受講生とも交流を持てたことなどから、教壇に立つ前の不安を拭うことができた。これからの教員生活について心配になることも多いが、これまで教えていただいたこと、背中を押してもらえたこと、力を貸して下さった

方々に感謝して準備を進めていきたいと思う。

- プレゼミナルを受講させていただきまして、ありがとうございました。学級開きや算数の授業づくりについて詳しく教えていただきました。勤務校で行ってきたことを改めて振り返ることができて、今後すぐに生かせる内容ばかりでした。受講者の方と情報共有ができたことも、貴重な学びとなりました。4月からも、学び続ける気持ちを大切に過ごしていきたいと思います。
- プレゼミナルの講習会にこれまで7回程参加させていただきました。プレゼミナルを受講して本当に良かったと思っています。それは参加したのとしらないのでは、4月からの教師としての心構えが全く違っていたと思うからです。私は事前に多くを学ばせていただくことで、確実に心に余裕を持つことができました。特に、第3回の「魅力ある学級づくりのために」では、事前に、児童理解と環境整備が大切である、ということをお教えいただきました。先生方の作成資料はとても参考になり、私の心の支えです。また、授業に創意工夫を加えユーモアを交えながら、児童が楽しい、また先生から学びたい、と思えるような授業創りを行っていくことは、教師である自分自身も児童と共に達成感を得られるということをお伺いしました。4月からの生活では、使命感ばかりにとらわれず、心に余裕を持ち、これから出会う子どもたちとの時間を大切に児童を育んでいきたいと思います。
- 4月からの教員生活に正直不安なことが多くありました。しかし、プレゼミナルに参加して、同僚になる方達と話をしたり実際の先生方からお話を聞くことができ、とてもためになり不安が軽くなりました。学級運営や授業作りを現職の先生方に教えていただいた時は、こんなアイデアがあるのかという発見や、面白いな、やってみよう、と思うことが多々ありました。大変なことも多くあるとは思いますが、周りに頼ることを大切にして教員生活を送りたいと思います。
- 少しの教員経験がある中で受講でしたが、正直自治体が変わるとなると不安感が大きい中でのスタートでした。これから一緒に働く同期や先輩方、仙台市でお世話になる方々とお会いできたことがまず不安解消の第一歩でした。具体的なパソコンの操作や、4月からの動きを確認したことで、4月からの自分をイメージして残りを過ごすことができそうです。11月から長い期間お世話になりました。またどうぞ4月からもよろしくお願いたします。
- プレゼミナルを受講して、4月から教員として働くための心構えができました。様々な先生方の話を聞いて、先輩の先生たちはどのようなことでつまずいたのか、仕事で困った際には誰に相談すれば良いのかなど知れてとても良かったです。C4th 使い方や業務用共有フォルダの活用方法などを赴任する前の段階で知れたことで、4月からの動き方も変わってくると思います。また、ICT 機器を用いた学習の方法を知れたことで、子供の興味、関心を引き出しつつ、意欲的に学習することができる授業づくりができると思いました。講師の先生方が教えてくださったこと、プレゼミナルでできた同期とのつながりを大切に、4月からの教員生活に生かしていこうと思います。合計で8回、お忙しい中ご準備していただき本当にありがとうございました。
- プレゼミナルを通して、同じ教員として働く方と交流を深めることができ、新しい生活への不安感が解消されました。また、授業や学級経営を行ううえで知っておくべき知識や技術などを学ぶことができ、これから学校で働くことの具体的なイメージを持つことにつながりました。これまで自分で学級を持った経験がないため不安材料がたくさんありますが、実際に4月から働きながら先生方の知識や技術を取り入れ、子ども達にとってよりよい学級を追求していきたいです。また、今後は教師同士の交流も大切にし、精神面や技術面での支え合いを積極的に行っていきたいです。プレゼミナルに参加したことで、教師になることへの心構えを改めて持つことができました。
- ICT や授業づくりの講義を受講して、自分が考えていなかったことや知らなかったことが多くあったので、今後の教員生活に活かしていきたいです。また、先輩方の職場でのお話を聞いて、学校での働いている様子を想像することができたので貴重な経験になりました。
- プレゼミナルを通して様々な先生方のお話を聞くことで、授業のやり方や学級経営のポイントなどを学ぶことができました。4月からの教員となり様々な困難が生じると思いますが、プレゼミナルで得た知識を基に乗り越えて子供たちから信頼される教員になれるよう精進して参ります。ありがとうございました。
- 11月の初回プレゼミナルに参加するまでは、正直4月からの教員として働くという実感がなく、何から準備を始めればよいのかわからないうえに、全ての会には参加できませんでしたが、実際に現場の方の講話を聞いたり、同期の仲間と情報交換を行ったことで教員になるという自覚と期待が大きくなりました。着任する日まで、自分なりに教員の仕事との向き合い方を考え、いいスタートを切れるようにしたいです。
- 4月からの不安が沢山あったが、このプレゼミに参加して不安があっても当然なんだ、みんな同じなんだと思うと少し安心できた。今までは同じ大学の友達としか話していなかったが、仙台市で同じ教員1年目で働く人たちとの交流を持てたことで、自分が相談できる相手が増えて良かった。また、様々な先生方や教育委員会の方々のお話を聞くことで教員としての自覚も芽生え、さらに教員になることへの期待が大きくなった。
- 第3回で現職の先生から、何よりもみんなの命と心を大切にすること、それが学級で大切にされてないときは先生は容赦なく怒ることを学級開きで必ず伝えていくと聞きました。学級開きの本質に気づくことができたように思います。第6回では便利で有効なツールは、子どもたちの性格や学級の状況を考慮して、その使い方が本当に効果的なのかどうかを判断する必要があることを学びました。学級開きでは、私も何よりも命と心を大切にすることを伝えたいです。ICT 活用は苦手な分野ですが、授業でどんどん活用するために子どもたちと一緒に学びたいです。
- 4月からの教員の1人として働くことに対して不安があった。私は計6回参加させていただいたが他の受講生と不安や期待を

共有していくことで解消することができた。自分の専門科目だけでなく災害に関することや生徒指導、保護者対応など様々なことを学ぶことができた。それだけでなくこれまで使用したことのない教育ツールを体験して実際に自分の授業に取り入れていきたいと強く感じた。特にロイロノートや jamboard などは生徒が主体的に学べる授業にするために使用したい。まだまだわからないことや心配なことはあるが働きながら学びたい。

〇プレゼミナールを第1回から第7回まで受講し、特に「教員としての働き方」と「デジタルツールの使用」に関して多くを学びました。教員としての働き方については、第5回で実際の授業準備や1日の過ごし方をグループディスカッションを通じて深く理解することができ、4月からの教員生活に向けて具体的なイメージを持つことができました。デジタルツールに関しては、ロイロノートの操作を学ぶことができ、効果的に活用する方法について考える良い機会となりました。また、教育センターや現場の先生方の話し方や目線の使い方からは、学級運営における細やかな配慮の重要性を学びました。これらの学びを生かし、4月からの教員生活において、児童一人ひとりに目を向けて学級運営・授業をしていきたいと考えています。



(2) 「4月から始まった教員生活への手応え等」(令和6年5月 着任1か月経過時アンケートより)

※ 令和6年5月にお示しします。